

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com



# 赤池まさあき 国政ニュース

# 政治の混迷の原因は？

## 二十年前の「政治改革」にあり！

日本の政治混迷は、目を覆うばかりです。消費税増税に政治生命を賭ける野田民主党政権は、自

民・公明との三党合意にこぎつけ、六月二十六日に衆議院で消費税増税と社会保障関連法案を通過させました。採決に当たり、民主

党は既に分裂しており、旧社会党と同様に、消滅の道を歩むことでしょう。

民・公明との三党合意にこぎつけ、六月二十六日に衆議院で消費税増税と社会保障関連法案を通過させました。採決に当たり、民主

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

北朝鮮には失敗したとはいえ、弾道ミサイル発射実験を強行させられまし

主党の小沢・鳩山グループの五十七名が反対に回りました。欠席・棄権者を入

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

事実無根で解決済のいわゆる「従軍慰安婦」問題を

るのと七十名超が、党の方針に反したことになりました。小沢グループは、

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

内政においても、東日本大震災の復興もままならない中で、消費税増税一

「反増税」を掲げて離党・新党結成を目指して、一騒動を起こしています。民主

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

本槍です。根幹であるはずの景気・経済対策が置き

動を起こしています。民主

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

去りにされています。その一方で、「女性宮家」創設

元首を初訪問させられ、

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

一方、手に負えません。

シヤには北方領土に国家

●民主党政権の成果は政権交代後三年余り、民主党政権は日本国家を

を目標と見、招来皇室を解体させようとしています。

一連の日本政治の混迷の原因は、どこにあるのでし

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

うか？左の年表にある通り、私は、二十年前の「政治

改革」から始めると思っています。

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

メサ加減に国民は呆れる一方で、政権に対峙する野党

判の声を頂きます。与野党

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

ともに「決められない日本の政治」の責任を問われている

のです。

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

一連の日本政治の混迷の原因は、どこにあるのでし

うか？左の年表にある通り、私は、二十年前の「政治

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

メサ加減に国民は呆れる一方で、政権に対峙する野党

判の声を頂きます。与野党

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

ともに「決められない日本の政治」の責任を問われている

のです。

●民主党への批判も「民主党はただのただ、自

一連の日本政治の混迷の原因は、どこにあるのでし

年	概要
S63・1988	リクルート事件。政治改革議論が起る。
H1・1989	消費税導入。参院選で自民が社会に敗北。
H2・1990	体制選択総選挙
H3・1991	政治改革法が廃案。海部内閣が総辞職
H4・1992	参院選で自民勝利。東京佐川事件
H5・1993	政治改革総選挙 細川非自民連立政権
H6・1994	政治改革関連法成立 村山自社さ政権
H7・1995	参院選で新進党勝利
H8・1996	旧民主党が結党初の小選挙区総選挙
H10・1997	消費税5%増。新進解党。参院選自民敗北。
H12・2000	神の国総選挙
H13・2001	参院選で小泉旋風
H15・2003	マニフェスト総選挙 合併効果で民主躍進
H16・2004	参院選で自民敗北
H17・2005	郵政民営化総選挙
H19・2007	参院選で自民敗北。ねじれ国会となる。
H21・2009	政権交代総選挙
H22・2010	参院選で民主敗北。

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com



# 赤池まさあき 国政ニュース

（ページから読む）

## ●政治腐敗の横行

私自身ロッキード事件に衝撃を受け、学生時代から「政治倫理の確立」のための遊説活動を行い、政治改革推進論者でした。

当時の政治改革の謳い文句は、信頼（腐敗防止）と責任ある政治（課題解決）の実現でした。それを主導したのが小沢一郎氏でした。

その背景には、湾岸戦争に対応できない日本外交があり、さらに、バブル経済の沸騰とともに、政財官癒着の金権腐敗が横行する政治がありました。

昭和六十三年に竹下内閣時にリクルート事件が起き、政治改革論議が起こりました。平成三年海部内閣が目指した政治改革関連法案が審議未了廃案となり、海部内閣は総辞職します。平成四年には東京佐川事件が起き、金丸元副総裁が失脚し、政治改革はまったなしの状況となります。

政治腐敗の元凶は、自民党の一党独裁であり、

それを支える中選挙区制だと指摘されてきました。

中選挙区制は、政権を担う党にとっては同土撃ちが不可避であり、その結果政策不在、個人本位、派閥横行、カネがかかりすぎる政治を招くとの指摘がなされてきました。公選法や政治資金規正法は、ザル法だとの批判もありました。

## ●政治改革とは？

その対策として、平成五年に宮沢内閣が政治改革関連法案を上程します。しかしながら、またもや審議未了の廃案となりました。それに抗議して、内閣不信任案が提出されると、自民党から小沢・羽田グループが造反し賛成に回り、不信案が可決され、総選挙となります。選挙の結果、細川非自民八会派の連立政権が成立し、翌年政治改革関連法案が実現します。

政治改革関連法案の内容は、①衆議院の選挙制度を中選挙区制から現行の小選挙区比例代表併立

制に変更すること。②三百億円の政党助成金制度を導入すること。③連座制の導入等、罰則を強化すること等です。

制に導入すること。③連座制の導入等、罰則を強化すること等です。

罰則強化は、腐敗防止に効果がありました。政党助成金制度は功罪半ばし、小選挙区制の導入は問題点が多いと言わざるを得ません。

実際、平成八年の初の中選挙区比例代表選挙は橋本自民党と小沢新進党の戦いとなりました。小沢氏は所得税半減の大減税を公約に掲げ、それに対抗する橋本首相は中央省庁の半減を打ち出しました。双方ともに現実を無視する極端な政策を掲げる嚆矢となりました。

平成十二年の森内閣時の総選挙では、比例定数が削減され、政党内閣が進み、二大政党化が進行します。

平成十五年の小泉内閣時の総選挙では、民主党が初めて「マニフェスト」と呼ばれる詳細な政権公約を掲げ、小沢自由党との

合併効果もあり、躍進しました。

平成十七年の小泉内閣による郵政民営化解散総選挙は、「劇場型」「ワンイシュー」選挙と

呼ばれ、小選挙区制の力學を十二分に使って、自民党が大躍進します。しかし、その反動もあり、平成二十一年の総選挙では、政権交代となりました。小沢一郎氏が掲げた政治改革が、二十年后に「自民党をぶっ潰す」形で実現したのです。

政治改革（小選挙区制、政党助成金）によって生み出された民主党という政党が、政権交代を実現した結果、金権腐敗政治は極まり、無責任な政治が現出しました。政治改革という壮大な社会実験は失敗だったと言わざるを得ません。

政治の安定化のため政治の安定化のために政治改革が目指した「政権交代可能な二大政党制」ではなく、「政策課題を解決するための多党制」を目指すべきだと思います。

そのためには、①選挙制度を小選挙区制（平均投票率六十四％）から、中選挙区制（同七十二％）に戻すこと。②政党助成金から、罰則を強化して紐が付かない献金の仕組みを構築すること。③現実に即した政策立案のため、政治家とスタッフの育成の仕組みをつくること。以上、三点の改革が必要です。

政治は人間が行う最高の芸術と言われている。そうであれば、政治への人材供給、人づくりが、すべての基本だと思

います。

（赤池まさあき）

### ▼東京事務所を開設

〒一〇二一〇〇七五

東京都千代田区三番町

三〇一六一二〇四

電話：〇三―五二―三

一四九四六

FAX：〇三―五二―三

一四九四七